



センターWebページへ

トップ

研修講座の状況

講座紹介・受講者の声

センター研究成果

ハイライト:

今年度もたくさんの講座を実施しておりますが、本号では、「今年度の注目講座!」「講座紹介・受講者の声」を紹介しています。まだ追加申込み可能な講座もありますので、多くの方の申込みをお待ちしております。

目次:

研修講座の状況	2
今年度の注目講座!	2
講座紹介・受講者の声	3
ストリーミング動画配信サービスの紹介	4
カリキュラムセンター紹介	4
センターからのお知らせ	4

青森県総合学校教育センター

センターだより

所長挨拶 「サポート（支援）に徹する」

本年4月に青森県総合学校教育センター所長を拝命した白石司です。「センターだより」Web版にアクセスいただきありがとうございます。どうぞよろしくお願いたします。

当センターは、八甲田山の麓、岩木山を遠くに仰ぎ、隣地の青森市スポーツ公園には、野球場、テニスコート等のスポーツエリア、大型遊具や水に親しめるわくわく広場、観察湿地や埋没林の丘等の埋没林広場が整備され、ヨシキリ、郭公、雉等の鳴き声が響く、自然豊かな場所にある。



青森県総合学校教育センター
所長 白石 司

この恵まれた環境の地で、教職員のための研修講座、教育課程・教科教育等の研究、教育相談等の業務に加え、指導主事等の人的資源、蓄積してきた情報資源を、広く教職員に活用いただけるよう、資料の提供、教科指導等の相談窓口事業、学校等支援講師派遣事業を行っている。

これまでほぼ毎日センター内を一巡りしているが、最近は、扉が開いているなど拝見できる講座は迷惑にならないよう気遣いつつ様子を伺っている。何よりも受講者の様子が気になる。ほとんどの場合後ろから伺うことになるのだが、今まで一人として参加していないと思われる受講者はいない。受講者の研修に取り組む姿勢から、子供たちのために少しでも学びたいという思いを感じる。「受講者が一生懸命ですね。」と講座担当指導主事に声をかけた。「先生方の笑顔を見るのが一番です」額に汗しながらの答えが返ってきた。

受講者の思い、担当者の思いがさらなる高まりを秘め、子供たちに向かう。さわやかな会話の中に教師の根源に触れたような思いがした。

日常の一場面ではあるが、本当に有り難いことだと思う。このような触れあいを多くの皆さんに味わってもらいたい。そして得た活力を子どもたちに向かうエネルギーにしてもらいたい。そんな願いを込め、さらに利活用される学校教育センターを目指し、努めて参ります。

平成24年度 研修講座の状況

【平成24年度研修講座】

当センターでは、青森県教職員研修体系に基づき、教職員の専門性を高め、教育活動の充実に資する各種の研修を行っています。研修は、「基本研修（初任者研修・新規採用者研修・経験者研修）」「職務研修」「専門研修（教科研修・教科外研修）」「特別研修」と体系化して構築しており、今年度の全講座数は198（開講数は196）となっています。

研修講座の構築に当たっては、喫緊の教育課題の解決を支援することはもちろん、受講者のニーズやライフステージに合わせ、先生方が受講して良かったと思えるような講座にするため、講座内容の評価・見直しをし、改善を図りました。

【追加申込みについて】

「職務研修」「専門研修（教科研修・教科外研修）」において、講座開始日の1か月前まで、追加申込みを受け付けています。希望する講座があれば、講座担当者まで、まずは電話連絡をお願いします。なお、追加申込みを受け付けている講座は、当センターのWebページの「追加申込み可能な講座」に掲載してあります。

【平成24年度研修講座申込状況】(延べ数)

研修体系	講座数	申込者数
基本研修	62	2637
初任者研修	34	1598
新規採用者研修	11	79
教職経験5年研修	8	207
10年経験者研修	9	753
職務研修	20	805
専門研修	109	2466
教科研修	57	906
教科外研修	52	1560
特別研修	5	32
合計	196	5940

(7/2現在)

トップ

研修講座の状況

講座紹介・受講者の声

センター研究成果

【今年度の注目講座と講座紹介について】

センターの研修を身近に感じてもらい、受講の参考としてもらうために、実際の講座の様子を講座担当者が紹介します。

今年度の注目講座！

「講座番号202

小・中学校国語科言語文化指導講座～古典と書写へのアプローチ～ 10/4～10/5開催

これまで国語科の講座は領域別に編成されていましたが、今年度から担当教員の技能や経験に応じて受講できるような編成になりました。特にこの講座は、国語科教育における喫緊の課題の一つである「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導力向上を目指し、古典の指導と書写の指導にスポットを当てた内容になっています。

子どもたちがわが国の言語文化に触れ、豊かな感性や情緒をはぐくむことができるよう、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の基本的な指導について研修し、担当教員の資質の向上を図ることをねらいとしています。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は学習指導要領改訂における重点項目の一つであり、特に小学校においては新たな取組が求められています。古典の指導と書写の指導を中心に、小学校における系統性、中学校での取組の変化、小・中学校間の接続について意図的に取り上げていきます。

さらに、県外講師による専門的な立場からの講義を通して、国語教育の不易流行の面から質の向上を図ることが期待される講座内容になっています…。

「講座番号601教育相談Ⅰ～604教育相談Ⅳ」

教育相談課では時代の変化・受講者の要望等を十分考慮した結果、今年度からこれまで実施していた教育相談「初級」「中級」「上級」という枠組みをはずすことにしました。それにともない講座のステップアップ方式を廃止しました。つまり、これまで中級・上級講座にあった受講資格をなくすることにより、フラット方式とし自分に必要なスキルを得るため、自由に教育相談Ⅰ～Ⅳを選択できるようになりました。また、教育相談の3講座を4講座に分割することにより、よりきめ細やかで充実した講座内容とすることができました。また、教育相談長期研修講座はこれまで、教育相談「上級」を終了した者を対象にしておりましたが、来年度から「上級」終了または、教育相談担当講座を3講座終了した者と変更しています。

